
第三期大野市環境基本計画 重点施策の推進状況

第三期大野市環境基本計画の重点施策ごとの、取組状況とその成果、
数値目標の達成状況を取りまとめます。

基本目標 1 自然との共生社会の形成

令和12年（2030年）に向けた目標

- 先人から受け継がれてきた、生活に安らぎと彩りを与えてくれる豊かな自然環境を次世代に伝えるため、市民一人一人の力を合わせて守ります。
- 大野市の魅力の一つでもある豊かな自然に、世代を問わずふれあうことのできる場と機会を創出します。
- 豊かな自然を地域資源と捉え、道の駅「越前おおの 荒島の郷(さと)」を活用したアウトドアの推進や体験型の観光プログラムによる都市との交流などにより地域振興を図ります。
- 多様な生き物が生息する自然環境を保全するため、生態系の基盤である水循環の健全化に向け、流域マネジメントを推進します。

令和5年度の取組状況

施策の基本方針 生物の多様性の確保

重点施策① 身近な自然とふれあう活動の推進

取組状況と成果

(1) 自然環境に対する関心を高める取り組みの推進

- ・ 自然に触れ、水に親しむ心を育むことを目的に、自然体験型の環境学習イベント「自然ふれあい探検隊」を3回開催し、延べ82人が参加した。
- ・ 阪谷公民館が活動を支援する桃木峠の大杉保全協議会が「桃木峠の大杉」の内容と協議会の活動をまとめたチラシやポスターを作成し各所に配布した。
- ・ 本市の自然環境の魅力を発信するため、道の駅「越前おおの 荒島の郷」で観光客等にカヌー体験やクライミング体験を提供した。(カヌー体験 623人、クライミング体験 269人)
- ・ 星空と天空の城を表紙にした新しいデザインの総合観光パンフレット(4万部)を製作した。

(2) 身近な自然の保全・再生とふれあいの場の提供

- ・ 本願清水イトヨの里の施設内で上映するイトヨ説明動画の更新を行った。
- ・ 各公民館で子どもが地域の自然を体験する講座等を実施した。(全24回・延べ458人参加)
- ・ 化石発掘体験センターHOROSSA!で化石発掘体験を実施し、年間で延べ4,983人が体験した。

- ・和泉郷土資料館を和泉地区で発見された恐竜や化石の展示に特化した施設「くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ」としてリニューアルオープンした。
- ・市化石保護規則に基づき、保護区域での化石採取届出 31 件について管理し、監視員 10 人を置き、化石及び化石産出地の保護を行った。
- ・日本古生物学会において「手取層群下部の層序と植物化石群」について研究発表を行った。
- ・県立恐竜博物館と共同で、中部縦貫自動車道工事で排出された岩石を対象に化石発掘集中調査を実施し、201 点の化石を収集した。

(3) 自然や生き物とふれあう機会の提供

- ・イトヨの観察会を 3 回開催し、延べ 114 人が参加した。
- ・自然に触れ、水に親しむ心を育むことを目的に、自然体験型の環境学習イベント「自然ふれあい探検隊」を 3 回開催し、延べ 82 人が参加した。(再掲)
- ・公民館リレー講座で「冬のごちそう」と銘打って地域の食材を使った郷土料理講座を開催し、5 人が参加した。
- ・健康食守フェスタを開催し、地産地消や食育を啓発した。
- ・阪谷公民館が活動を支援する「阪谷をよくする会」が部員対象に地域の食材を使った郷土料理調理実習を 3 回開催し、延べ 47 人が参加した。

(4) 自然とのふれあい活動を行う人材育成の推進

- ・開成中学校の生徒 10 人で「イトヨ守り隊」を結成し、大野の水について考えながら、イトヨを保護する活動を行った。
- ・水循環に関わる人材の育成などを目的に「越前おおの水のがっこう」で水に関する講座などを 7 回開催し、延べ 138 人が参加した。
- ・和泉公民館で小学生向けに季節の草花等にふれあう講座を 2 回開催し、延べ 27 人が参加した。
- ・森づくり関係 5 団体に対し活動費を補助した。

重点施策② 野生動植物の保全

取組状況と成果

(1) 生物多様性の保全

- ・大野市水循環推進協議会において、市水循環基本計画に基づくそれぞれの取組み(流域マネジメントの実施主体による生息地の保全など)について情報共有した。
- ・開成中学校の生徒 10 人で「イトヨ守り隊」を結成し、大野の水について考えながら、イトヨを保護する活動を行った。(再掲)
- ・希少生物保護に関する講演とイトヨ守り隊の活動報告を行う「イトヨの里市民講座」を開催し、55 人が参加した。
- ・ホームページで天然記念物に関する情報を発信した。

(2) 地域ぐるみによる有害鳥獣対策の促進

- ・ 猟友会の活動を支援するとともに、集落が取り組む電気柵整備への補助や狩猟免許新規取得者への補助を行った。

(3) 市民協働による外来生物の防除対策

- ・ 本願清水イトヨの里で、外来生物の種類や取り扱いに関する講座（イトヨ観察会の一環）を開催し、41人が参加した。
- ・ 県水産課主催による九頭竜ダムのコクチバス駆除活動に職員が参加した。
- ・ 本願清水イトヨの里で外来生物の駆除を行ったほか、カメラと職員の目視による生息池の監視活動を行った。

重点施策③ 地域資源の活用

取組状況と成果

(1) 魅力ある自然環境の観光活用

- ・ 本市の自然環境の魅力を発信するため、道の駅「越前おおの 荒島の郷」で観光客等にカヌー体験やクライミング体験を提供した。（カヌー体験 623 人、クライミング体験 269 人）（再掲）
- ・ サイクルツーリズムを推進するため、道の駅「越前おおの 荒島の郷」、城下町東広場にレンタサイクル「九頭竜ぐるっとペダル」を4月から11月まで設置し、44件の利用があった。また、大野市、勝山市、永平寺町の観光施設などにバイクラックを設置した。
- ・ 新たな観光体験メニューを開発した市内事業者に対してメニュー開発経費を補助した。（実績1件）
- ・ 南六呂師エリアの夜空の暗さ、光害への取組みなどが評価され、8月に「星空保護区®」に認定（アーバン・ナイトスカイプレイス部門ではアジア初認定）された。10月には第35回「星空の街・あおぞらの街」全国大会を文化会館で開催した。

(2) 豊かな自然の恵みの経済活用

- ・ 山林の適切な管理を進めるため、木質バイオマス発電所への間伐材 5,917 m³の搬出に要する経費を補助した。
- ・ 道の駅「越前おおの 荒島の郷」や道の駅「九頭竜」での販売、ふるさと納税などを活用して農林水産物の多様な販売活動を展開した。越前おおの農林楽舎へ出荷され、同施設等で販売された売上高は 5,080 万円となり、過去最高となった。
- ・ 農林水産物のブランド力の向上と販路拡大に取り組むため、越前おおの農林楽舎や株式会社平成大野屋に委託し、実店舗での販売のほか、市外、県外のイベントや EC サイトなどのウェブを活用した情報発信、PR 活動に取り組んだ。

数値目標の達成状況

①生物多様性の認知度（生物多様性について意味を知っている市民の割合）（％）

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| — | — | — | — | — | 55 | 60 |

【参考】令和6年度10月末時点の認知度 53%

（環境教室及び環境関連イベントの参加者279人にアンケート）

②イトヨの里の入館者数（人）

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|-------|-------|-------|-------|----------------|-----------------|
| 9,688 | 5,814 | 6,132 | 6,490 | 7,643 | 10,650 | 11,600 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|---|---|---|---|
| 里地の環境保全活動に取り組む集落数 多面的機能維持支交付付金制度の対象となる環境保全活動に取り組む集落の数 | 79 集落 | 78 集落 | 79 集落 |
| 希少生物の確認種数 環境省レッドデータブック等により希少性が認められている生物について、市内で確認された種の総数 | 哺乳類 8種 鳥類 46種 爬虫類 5種 両生類 7種 淡水魚類 13種 昆虫類 140種 陸産貝類 32種 淡水産貝類 6種 (福井県レッドデータブック2016年より) | 哺乳類 8種 鳥類 46種 爬虫類 5種 両生類 7種 淡水魚類 13種 昆虫類 140種 陸産貝類 32種 淡水産貝類 6種 (福井県レッドデータブック2016年より) | 哺乳類 8種 鳥類 46種 爬虫類 5種 両生類 7種 淡水魚類 13種 昆虫類 140種 陸産貝類 32種 淡水産貝類 6種 (福井県レッドデータブック2016年より) |
| 有害鳥獣捕獲頭数 鳥獣被害防止のため市内で捕獲された鳥獣の種類別頭数 | イノシシ 110頭 ニホンジカ 848頭 | イノシシ 148頭 ニホンジカ 979頭 | イノシシ 234頭 ニホンジカ 727頭 |
| 郊外における観光入込客数 1年間の観光入込客数のうち、郊外を訪れた観光客数 | 1,330,600人 | 1,449,800人 | 1,416,400人 |

令和5年度の取組状況

施策の基本方針

自然環境の体系的保全

重点施策① 農地（里地）の保全と活用

取組状況と成果

（1）地域による農地の保全

- ・農地集積に協力した個人（18人）及び地域（4地区）に協力金を交付した。
- ・耕作放棄地の増加を防止するため、農業委員会による農地パトロール等を実施した。また、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を進め、集積率は75.8%となった。
- ・新規就農者や後継者の確保と育成を図るため、国の補助を活用し新規就農者を補助金により支援した（実績4件）
- ・女性や高齢者など、誰もが生き生きと農業経営に参画できるよう、新たな園芸作物にチャレンジする生産者に対し種苗の購入や機械の購入を補助金により支援した。（実績8件）

（2）環境調和型農業の促進

- ・環境保全型農業に取り組む団体を補助金により支援した。（実績6件）

重点施策② 山林（里山）の保全と活用

取組状況と成果

（1）森林の保全

- ・森林経営管理制度（森林所有者と民間事業者をつなぐ制度）の活用を促進するため、森林経営が実施されていない森林の所有者88人に対して意向調査を実施した。
- ・林業従事者の確保と育成に向け、ふくい林業カレッジが行うフォレストワーカー研修を受講しながら働く1年目から3年目までの就労者を雇用する林業事業体に対し、雇用に係る経費を補助した。（実績1件）
- ・林業機械のレンタルを受けた林業事業体のレンタル料を補助した。（実績1件）
- ・水源涵養機能などの維持を図るため、ブナの森環境保全林の保護・保全管理を行った。

（2）森林資源の利活用促進

- ・山林の適切な管理を進めるため、木質バイオマス発電所への間伐材5,917 m³の搬出に要する経費を補助した。（再掲）
- ・森林資源を持続的かつ効率的に利用し、どのように森林管理をしていくかなど、森林整備や森づくりの方向性を示めした「おおの森づくりプラン」を策定した。

- ・子どもの頃から木製品に触れる機会を提供し森林資源の循環を図るため、保育園やこども園などが行う、国産材のおもちゃ（13件）、大型遊具（5件）及び什器（9件）の購入にかかる費用をそれぞれ支援した。
- ・越前おおのエコフィールド管理・運営協議会（令和5年度末加盟団体数34団体）の活動を通じて、森林の大切さなどについて意識啓発を図った。

数値目標の達成状況

①耕作放棄地の面積（ha）

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 3.0 | 4.0 | 1.3 | 2.5 | 2.5 | 3.6以下 | 4.1以下 |

②森林整備面積（間伐）（ha）

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 341 | 405 | 294 | 225 | 236 | 358 | 375 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|---|--|--|------------------|
| 農用地面積 「農業振興地域の整備に関する法律」に基づく、農用地区域内の農地面積 | 4,176.0ha | 4,174.6ha | 4,174.6ha |
| 形態別森林面積 市内の森林について、人工林（針葉樹、広葉樹）、天然林（針葉樹、広葉樹）、竹林、無立木地などの区分による森林面積（累計） | 75,825ha 人工林 19,715ha 天然林 52,418ha その他 3,692ha ※総数と内訳が一致しないのは四捨五入のため | 75,825ha 人工林 19,726ha 天然林 52,405ha その他 3,692ha ※総数と内訳が一致しないのは四捨五入のため | — (引用データ公表未済) |
| 広葉樹の植林面積 市内において、1年間に広葉樹を植林した面積の総数 | 0ha | 0ha | 0ha |
| 森林経営計画認定面積 森林経営計画の認定を受けている市内の森林面積 | 26,434ha (カバー率 47.9%) | 27,766ha (カバー率 50.3%) | — (引用データ公表未済) |

基本目標 2 低炭素社会の実現

令和12年（2030年）に向けた目標

- 温室効果ガス削減成果の見える化や削減対策を楽しく学ぶ取り組みなど、地球温暖化防止の啓発を推進し、低炭素型のエコライフや事業活動の定着を目指します。
- 木質バイオマスや水力など、地域資源を活用しつつ、周囲の自然や環境との調和のとれた再生可能エネルギーの利用を推進します。
- 既に現れている気候変動の影響や中長期的に避けられない影響を予測し備える「適応策」を推進します。

令和5年度の実施状況

施策の基本方針 地球環境の保全

重点施策① 脱炭素に向けた行動の促進

取組状況と成果

(1) 低炭素型エコライフや事業活動の促進

- ・国の温室効果ガス削減目標や市脱炭素ビジョンの内容を踏まえ、第三期大野市環境基本計画の一部を改訂した。
- ・子どもの省エネに関する理解を深めるため、小学生を対象としたエネルギー教室を2回開催し、27組58人が参加した。
- ・「省エネ住宅でより健康で快適な暮らしを」をテーマに関係団体、事業者、大学等の関係者の参加を得て、「脱炭素ビジョンシンポジウム」を開催し、71人が参加した。
- ・子どもから大人まで地球温暖化対策の重要性を啓発するため、Eco落語、Eco遊園地、Eco紙芝居、親子エネルギー教室とエコドライブ体験会を開催し、延べ925人が参加した。Eco遊園地では、リサイクルへの理解を促すため、廃プラスチックを利用したストラップづくりを2日間開催し、延べ431人が参加した。
- ・年間を通してアンケートを行い、550人から温暖化対策につながる賢い選択を促す運動「COOL CHOICE」の賛同を得た。
- ・カーボンニュートラル達成と市民の幸せな暮らしの同時実現を目指し、多様な主体が連携・協働し、官民一丸となり脱炭素に向けた取り組みを推進するため「大野市脱炭素推進会議」を立ち上げ、会合を2回開催した。

重点施策② 脱炭素型のまちづくりの推進

取組状況と成果

(1) 公共施設等の脱炭素化の推進

- ・国の地球温暖化対策計画に即して、市が実施する事務事業に関し、省エネルギーや廃棄物の減量化などの取り組みを推進し、温室効果ガス排出量を削減することを目的に「大野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定した。
- ・北陸電力株式会社と連携し、市内の家庭や事業所における太陽光発電設備で発電された卒FIT電力を市公共施設（越前大野城、トロン温浴施設うらら館、本願清水イトヨの里）に供給した。
- ・職員共用の公用車として電気自動車2台を導入した。
- ・あっ宝んど、結とぴあなどの施設で照明器具（一部）のLED化を行った。
- ・市所管の防犯灯のLED化を行い、LED化率が87%（655灯/全753灯）となった。
- ・トロン温浴施設うらら館の重油ボイラーを市内で加工した木質ペレットを燃料とする木質バイオマスボイラーに更新した。

(2) 公共交通等の利用促進

- ・大野市にとって望ましい交通・移動サービスを実現するため、大野市地域公共交通活性化協議会において地域の実情や利用者ニーズを共有し、「大野市地域公共交通計画」を策定した。
- ・サイクルツーリズムを推進するため、道の駅「越前おおの 荒島の郷」、城下町東広場にレンタサイクル「九頭竜ぐるっとペダル」を4～11月に設置し、44件の利用があった。また、大野市、勝山市、永平寺町の観光施設などにバイクラックを設置した。（再掲）
- ・健康づくりに取り組む人が増えるよう、活動量に応じてポイントを付与する「おおのヘルスウォーキングプログラム」は、前年度からの継続者1,519人に加え、新たに951人の応募があり、合わせて2,470人が参加した。

重点施策③ 気候変動適応策の推進

取組状況と成果

(1) 自然環境に与える影響の把握

- ・気候変動による水循環への影響を調査するため、連携協定を締結する香川大学と共同研究を実施した。研究成果を市民と共有するため、共同研究成果報告会を開催し、36人が参加した。
- ・熱中症の予防や対策についてホームページや広報おおので周知するとともに、イベントなどの機会を捉えて注意喚起を促した。
- ・地域医療協議会を開催し、熱中症対策に関する気候変動適応法の改正内容や市の新たな取組みについて説明を行った。

(2) 自然災害対策の推進

- ・河川監視カメラを2箇所（新堀川、善導寺川）に設置し、ホームページにて画像の配信を行った。
- ・一般社団法人福井県産業資源循環協会と災害時における廃棄物等の協力に関する協定を締結し、市総合防災訓練において災害廃棄物仮置き場設置訓練を実施した。

数値目標の達成状況

①大野市内の温室効果ガス排出量（CO₂換算）（千t-CO₂）

| H29年度 （基準値） | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R7年度 （中間目標） | R12年度 （最終目標） |
|----------------|-------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 302 | 299 | 272 | 237 | 243 | 274 | 231 |

※実績値は、環境省「部門別CO₂排出量の現況推計」から引用した数値であり、市独自算定による実績値とは一致しない。

②大野市の事務事業におけるエネルギー使用量（原油換算）（kl）

| R元年度 （基準値） | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 （中間目標） | R12年度 （最終目標） |
|---------------|-------|-------|-------|-------|----------------|-----------------|
| 4,554 | 4,144 | 4,722 | 4,525 | 3,909 | 4,441 | 4,326 |

③ゼロカーボン施設の数（公共施設）（施設数）

| R元年度 （基準値） | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 （中間目標） | R12年度 （最終目標） |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 5 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|---|--|--|--|
| JR 越美北線利用者数 1年間におけるJR越美北線の利用者数（一般数、定期券利用者数） | 261,483人 ※内訳 一般数 60,995人 定期券 200,488人 | 279,091人 ※内訳 一般数 65,870人 定期券 210,521人 | 266,583人 ※内訳 一般数 71,121人 定期券 195,462人 |
| バス利用者数 1年間におけるバス利用者数 | 180,181人 ※内訳 市内路線バス 21,989人 京福バス大野線 119,431人 京福バス勝山大野線 38,761人 | 190,729人 ※内訳 市内路線バス 24,025人 京福バス大野線 120,293人 京福バス勝山大野線 46,411人 | 198,461人 ※内訳 市内路線バス 25,994人 京福バス大野線 121,525人 京福バス勝山大野線 50,942人 |
| 降雨の水素イオン濃度 福井市地点で計測している雨水中の水素イオン濃度（pH）の年平均値【調査地点：福井市】 | 平均値 5.0 pH 最小値 4.7 pH 最大値 5.5 pH | 平均値 5.0 pH 最小値 4.7 pH 最大値 5.3 pH | 平均値 5.0 pH 最小値 4.7 pH 最大値 5.4 pH |

令和5年度の取組状況

施策の基本方針

資源及びエネルギーの有効利用

重点施策① 省エネルギーの推進

取組状況と成果

(1) 住宅・建物部門における省エネの推進

- ・「省エネ住宅でより健康で快適な暮らしを」をテーマに関係団体、事業者、大学等の関係者の参加を得て、「脱炭素ビジョンシンポジウム」を開催し、71人が参加した。(再掲)
- ・市民の「CO2削減につながる商品等」の購入をサポートする事業者を「結のEco協賛店」として認定し、リーフレットやホームページ等で紹介した。(令和5年度末登録者数51者)
- ・開成中学校、陽明中学校、下庄小学校の改修工事において、各校の教室等の窓ガラスに断熱性能の高い「ペアガラス」を設置した。

(2) 産業・農業部門における省エネの推進

- ・省エネ設備を導入する事業者に購入及び設置に要する費用の一部を補助した。(実績18件) これにより、補助金活用事業者全体の年間電力は約39,500kWh削減されたとの試算結果が出た。
- ・農業分野における脱炭素化を推進するため、バッテリー式刈払機の購入に対し補助を行った。(実績54件)

(3) 運輸部門における省エネの推進

- ・職員共用の公用車として電気自動車2台を導入した。(再掲)
- ・福祉ふれあいまつり、富田夏まつり、健康・食守フェスタの各イベントで「エコドライブ」の疑似体験ブースを出展し、計83人が体験した。

重点施策② 再生可能エネルギーの利用促進

取組状況と成果

(1) 再生可能エネルギーの利用促進

- ・令和6年度からの運用開始を見据え、住宅の太陽光発電設備及び蓄電池の導入を支援する補助制度を設計した。
- ・市内で小水力発電事業を計画する事業者からの相談に対応し、適切に助言・指導を行った。
- ・北陸電力株式会社と連携し、市内の家庭や事業所における太陽光発電設備で発電された卒FIT電力を市公共施設(越前大野城、トロン温浴施設うらら館、本願清水イトヨの里)

に供給した。(再掲)

(2) バイオマスの利用促進

- ・ トロン温浴施設うらら館の重油ボイラーを市内で加工した木質ペレットを燃料とする木質バイオマスボイラーに更新した。(再掲)
- ・ 山林の適切な管理を進めるため、木質バイオマス発電所への間伐材 5,917 m³の搬出に要する経費を補助した。(再掲)
- ・ 森林資源を持続的かつ効率的に利用し、どのように森林管理をしていくかなど、森林整備や森づくりの方向性を示めた「おおの森づくりプラン」を策定した。(再掲)

数値目標の達成状況

① 木質バイオマス発電に活用した間伐材の量 (補助数) (m³)

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|-------|-------|-------|-------|----------------|-----------------|
| 7,595 | 9,259 | 6,660 | 7,070 | 5,917 | 7,975 | 8,355 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|--|--|--|--|
| 電気自動車等の普及台数 市内の自動車登録台数において、電気自動車等クリーンエネルギー車の登録台数の総数 | 4,009 台 ※内訳 ハイブリット車 3,968 台 電気自動車 40 台 天然ガス自動車 1 台 | 4,234 台 ※内訳 ハイブリット車 4,188 台 電気自動車 45 台 天然ガス自動車 1 台 | 4,530 台 ※内訳 ハイブリット車 4,478 台 電気自動車 51 台 天然ガス自動車 1 台 |
| 公用車における電気自動車等台数 市が所有する電気自動車等の台数 | 5 台 | 5 台 | 7 台 |
| 自動車登録台数 市内において登録されている自動車台数の総数 | 29,732 台 ※内訳 普通車 6,789 台 小型車 7,465 台 被索引車 12 台 軽自動車 14,066 台 その他 1,400 台 ※軽二輪除く | 29,465 台 ※内訳 普通車 6,813 台 小型車 7,218 台 被索引車 12 台 軽自動車 14,005 台 その他 1,417 台 ※軽二輪除く | 29,352 台 ※内訳 普通車 6,920 台 小型車 6,980 台 被索引車 13 台 軽自動車 13,998 台 その他 1,441 台 ※軽二輪除く |
| 太陽光発電による買電件数 年度中に太陽光発電による電力を電力会社に売却(売電)した太陽光発電設置件数(住宅・非住宅) | 342 件 | 354 件 | 369 件 |
| 太陽光発電以外の再生可能エネルギー発電施設数 年度中に太陽光発電以外による再生可能エネルギー由来の電力を電力会社に売却(売電)した再エネ発電施設件数 | 5 件 | 6 件 | 8 件 |

基本目標 3 資源循環型社会の構築

令和12年（2030年）に向けた目標

- 市内量販店及び地区と連携した資源ごみの回収や市民団体による啓発活動など、官民協働による3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再利用）が推進される資源循環型社会を構築します。
- 特に、燃やせるごみに占める割合が大きい紙ごみ（雑がみ）の分別徹底や、食品ロス削減の取り組みを強化するとともに、「脱プラスチック」を促進し、廃棄物の発生と処理費用を抑制します。

令和5年度の実施状況

施策の基本方針 廃棄物の減量及びリサイクルの推進

重点施策① 3Rによるごみ排出量削減の推進

取組状況と成果

(1) ごみ発生抑制の促進(リデュース)

- ・ごみの削減に向けた理解を促進するため、わく湧くお届け講座（88回・延べ2,842人）や小学生向けの環境教室（6回・延べ115人）、外国人技能実習生向けのごみ分別研修会（11回・延べ177人）をそれぞれ実施した。
- ・電子決裁の徹底、庁内会議などのペーパーレス化、業務用アプリの作成など行政事務のデジタル化の取り組みを強化し、全庁の印刷枚数を前年度比で約13%削減した。

(2) 「モノ」を大切にする生活様式の定着化（リユース）

- ・「ものを大切にする」意識を啓発するため、県が進める「まちの修理屋さん情報」をホームページに掲載した。
- ・地域子育て支援センター及び子育て交流広場ちくたつくで、子供服や子育て用品の「リサイクル市」を開催した。
- ・壊れたおもちゃの修理を通じて子どもものを大切に育むため、県と連携し、西部児童センターで「おくえつおもちゃ病院」を3回開催した。

(3) 分別回収の推進（リサイクル）

- ・ごみの分別などを分かりやすく市民に伝えるため、ごみの分別早見表(冊子)を6年ぶりに改訂し、全戸配布した。
- ・リサイクルを促進するため、リネットジャパンリサイクル株式会社が提供する「宅配便によるパソコン無料回収サービス」をごみ収集カレンダーなどで周知し、115件の利用があった。

- ・資源（新聞紙・雑誌など）の分別回収活動を実施した自治会や育成会など40団体に對し資源の回収量に応じ補助金を交付した。
- ・公共工事において、特記仕様書にリサイクル資材の使用やグリーン購入調達記録表の提出などの条件を明示した。

重点施策② 食品ロス削減の推進

取組状況と成果

(1) 発生抑制のための普及啓発

- ・健康食守フェスタを開催し、地産地消や食育を啓発した。（再掲）
- ・エンカル消費の理解を促進するため、地域福祉団体と連携し、高齢者を対象にエンカル消費者講座を14回開催し、延べ223人が参加した。
- ・放課後子ども教室及び児童センターなど6か所で、児童向けに食品ロス削減の啓発紙芝居を行った。

(2) 協働による削減推進

- ・食品ロスの削減と生活困窮家庭の支援を目的に、家庭で余った食材を寄附する「フードドライブ」を福井県民生活協同組合と連携して3回実施し、食品等1,700kgを回収した。
- ・大野高校生と連携し、健康食守フェスタで食品ロスに関するクイズや捨てられる食材を使った料理のレシピの配布などを行った。
- ・年末の忘年会シーズンに向け、県が進める「おいしいふくい食べきり運動」協力店を訪問し、協力依頼を行った。

重点施策③ プラスチックごみ削減の推進

取組状況と成果

(1) プラスチック使用量削減の普及啓発

- ・令和6年度開始のプラスチック資源分別回収に向けて、市民説明会（50回・延べ1,738人）、及び各地区でのわく湧くお届け講座（88回・延べ2,842人）を開催し、新たな分別方法やごみの減量化などについて説明した。
- ・プラスチック分別回収やごみの減量化に関する説明動画を作成し、ホームページや公式LINEで情報発信した。
- ・マイボトル運動による脱プラスチックを促すため、会議の開催案内通知でマイボトル持参を促した。

(2) プラスチックごみの分別回収方法の検討

- ・大野・勝山地区広域行政事務組合ごみの諸課題検討運営委員会ワーキンググループを4

回開催し、令和6年4月からの新たな分別回収に向けて協議を行った。

- ・ごみの減量化及び資源循環の促進を図るため、廃棄物減量等推進審議会を開催し、プラスチック資源の適正な処理について審議した。

(3) 再生材・バイオプラスチックの利用促進

- ・公共工事において、特記仕様書にリサイクル資材の使用やグリーン購入調達記録表の提出などの条件を明示した。(再掲)

数値目標の達成状況

①市民1人1日当たりのごみ排出 (g)

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 950 | 952 | 941 | 931 | 885 | 939 | 919 |

②ごみの資源化率 (%)

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 21.9 | 20.1 | 23.0 | 20.8 | 20.1 | 25.9 | 31.0 |

③食品ロスの発生量 (t)

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|-------|---------|---------|---------|----------------|-----------------|
| 898.5 | 865.6 | 1,212.8 | 1,064.4 | 1,078.6 | 762.9 | 627.2 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|--|----------|----------|---------|
| 一般廃棄物処理量 広域ごみ処理施設「ビュー クリーンおくえつ」で処理 する1年間の市内の一般 廃棄物処理量 | 10,919 t | 10,580 t | 9,881 t |
| 集団回収量 (スーパー 回収量等を含む) 団体が古紙類等資源化を 目的に回収した量【 | 660 t | 657 t | 612 t |
| 資源化量 ビュークリーンおくえつ 等で資源化されるごみの 量 | 2,664t | 2,338t | 2,106t |
| 再生資源を活用した市 発注工事の件数 市発注工事において、建設 資材等について利用した 1年間の工事件数 (工事施 工者等の自主的利用含 む。) | 92 件 | 117 件 | 125 件 |

| | | | |
|--|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| <p>「おいしいふくい食べ きり運動」協力店の数 「おいしいふくい食べ きり運動」協力店として登録 している店舗数</p> | <p>55 件</p> | <p>55 件</p> | <p>55 件</p> |
| <p>ごみ減量や分別方法な どに関する講座等の実 施回数（参加人数） 3Rやプラスチックごみ、 食品ロス等に関する講座 や研修会の実施回数（参加 人数）</p> | <p>7 回 (126 人)</p> | <p>14 回 (314 人)</p> | <p>155 回 (4,872 人)</p> |

基本目標 4 快適な生活環境の保全

令和12年（2030年）に向けた目標

- 法令に定められた排出基準や規制基準の遵守を徹底するとともに、市内河川における水質検査などのモニタリングを継続実施し、安全で安心な市民生活を守ります。
- 地域の草刈りや清掃など地域住民による活動を支援するとともに、市民が楽しみながら参加できる取り組みを通じて、環境美化を推進します。
- 城下町大野にふさわしい歴史を感じる街並み景観の保全と形成に取り組むとともに、大野らしい景観を育む里地里山の美しい自然景観の保全に取り組みます。

令和5年度の取組状況

施策の基本方針 公害の防止

重点施策① 公害発生防止

取組状況と成果

（1）法令遵守の徹底

- ・ 野外焼却や悪臭、雑草繁茂などの公害苦情（全14件）に応じて出場し、発生源となった者に対し、法令順守について指導を行った。
- ・ 工場及び事業所（4事業所等）からの工場排水について水質検査を実施した。
- ・ 公害防止協定に基づき、市内企業10社に「令和5年度公害防止計画書」、市内企業9社に「令和4年度公害防止対策実績報告書」の提出を求め、基準の遵守徹底を依頼した。

（2）監視体制の強化と情報提供

- ・ 11河川において水質検査を実施し、1河川において市の基準値を超える数値となった。
（市の基準値は超えたものの、国の基準値の範囲内であるため経過観察とした。）
- ・ 市内41か所の地下水を採取し、水道法における飲料水基準に準拠して40項目の検査項目について水質検査を実施した。このうち、飲用エリア内の1か所で1項目が基準値を超えたため、管理者に対し改善を促した。（令和6年度には改善）

（3）生活雑排水対策の推進

- ・ 公共下水道の整備を進め、整備済み面積は前年度より11.7ha増え750.6haとなった。
- ・ 公共下水道への加入促進を図るため、戸別訪問（637件）や下水道の日のパネル展示、下水道接続に係る経費への補助（ご近所接続奨励金2件4人など）を行った。
- ・ 汚水処理施設最適化計画に基づく農業集落排水施設の最適化を進めるため、庁内協議を行い、統合方針を決定するとともに、15処理区の維持管理組合、関係区長会や住民を対象に説明会を59回開催した。

- ・汚水処理を進め公共用水域の水質保全を図るため、浄化槽設置整備事業補助により合併処理浄化槽の整備を支援し、合併処理浄化槽の設置数は、前年度より9基増の1,694基となった。

(4) 化学物質の適正管理の促進

- ・環境保全型農業に取り組む団体を補助金により支援した。(実績6件)(再掲)
- ・県主催の農薬安全使用講習会や農薬管理指導士、JAを通じて農薬や肥料などの適正管理や適正使用の周知啓発を行った。

重点施策② 環境美化活動の促進

取組状況と成果

(1) 市民協働による清掃活動の促進

- ・環境美化活動の促進のため、4月に和泉地区一斉清掃(クリーンアップ大作戦)を実施し、27団体からの参加者が廃棄物1,100kgを回収した。
- ・環境月間の6月に、県が実施するクリーンアップふくい大作戦に協力し、住民・市が一体となり、真名川憩いの島の環境美化活動を行い、廃棄物60kgを回収した。
- ・市民協働による環境美化を推進するため、用水路清掃や草刈り、ごみ拾いなど各地区が実施する社会奉仕活動を補助金等により支援した(79地区延べ123回実施)。
- ・乾側地区女性の会による牛ヶ原駅の清掃活動や、阪谷よくする会による城の下公園の清掃活動を支援した。

重点施策③ 野外焼却、不法投棄の防止

取組状況と成果

(1) 普及啓発の促進

- ・基準を満たしていない野外焼却炉の使用者や野外焼却炉の間違った使用をしている者に対し、指導を行った。(産業廃棄物の場合は県と合同で指導)
- ・環境月間の6月に不法投棄及び野外焼却について広報おおのに啓発記事を掲載した。
- ・野焼きの防止を図るため、火災気象通報発令時に消防車両により警戒広報(パトロール)を65回実施した。

(2) 早期発見、再発防止

- ・地区から推薦を受けた住民を環境監視員に委嘱し、不法投棄物などの早期発見を目的としたパトロールを行った。(延べ135回)
- ・毎月1回程度、県奥越健康福祉センターと合同でパトロールを行った。(全12回)
- ・野外焼却や不法投棄の行為者が判明した場合に、警察や消防と連携して指導等を行った。(市出場8回)

数値目標の達成状況

①水質基準を達成した河川の数（河川数）

（県及び市が実施する 11 河川の水質検査結果において、環境基本計画で設定した水質基準を満たした河川数）

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 11 | 11 | 11 | 10 | 10 | 11 | 11 |

②水洗化率（％）

（公共下水道、農業集落排水処理施設の加入人口、合併処理浄化槽設置人口（それぞれの区域内人口））/人口

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 44.1 | 45.8 | 46.8 | 47.9 | 49.4 | 52.4 | 60.7 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|---|---|---|---|
| 大気汚染に係る環境基準の達成率 1年間の大気汚染測定結果について、地点及び項目ごとの測定結果が環境基準を満足した回数の全測定回数に占める割合（％） ※福井県大気汚染総合情報より | 二酸化いおう 100 一酸化炭素 — 浮遊粒子状物質 100 二酸化窒素 100 光化学オキシダント 91.0(332/365日) 97.8(5,333/5,454時間) | 二酸化いおう 100 一酸化炭素 — 浮遊粒子状物質 100 二酸化窒素 100 光化学オキシダント 91.0(332/365日) 96.6(5,241/5,450時間) | 二酸化いおう 100 一酸化炭素 — 浮遊粒子状物質 100 二酸化窒素 100 光化学オキシダント 89.9(329/366日) 97.3(5,318/5,465時間) |
| 大気汚染防止法に基づく特定施設等の設置数 大気汚染防止法に基づき、特定施設等として届出された工場又は事業場の数（件） | 0件 | 1件 | 1件 |
| 水質汚濁に係る環境基準の達成率（河川） 1年間の水質汚濁測定結果について、地点及び項目ごとの測定結果が環境基準を満足した回数の全測定回数に占める割合（％） | 生活環境 有害物質 九頭竜川 89% 100% (4項目) (26項目) 真名川 100% 100% (4項目) (21項目) 清滝川 100% 100% (4項目) (21項目) 赤根川 100% 100% (4項目) (27項目) | 生活環境 有害物質 九頭竜川 93% 100% (4項目) (26項目) 真名川 100% 100% (4項目) (21項目) 清滝川 100% 100% (4項目) (21項目) 赤根川 100% 100% (4項目) (27項目) | 生活環境 有害物質 九頭竜川 98% 100% (4項目) (26項目) 真名川 100% 100% (4項目) (21項目) 清滝川 100% 100% (4項目) (21項目) 赤根川 100% 100% (4項目) (27項目) |
| 水質汚濁防止法に基づく特定施設等の設置数 水質汚濁防止法に基づき、特定施設等として届出された工場又は事業場の数（件） | 5件 | 3件 | 4件 |
| 公共下水道加入人口 公共下水道に接続し、使用している人口（人） | 6,937人 | 7,191人 | 7,474人 |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 農業集落排水事業加入人口 農業集落排水に接続し、使用している人口（人） | 5,755人 | 5,609人 | 5,534人 |
| 合併浄化槽設置人口 合併浄化槽を設置し、使用している人口（人） | 5,487人 | 5,365人 | 5,289人 |
| 地盤沈下量 水準測量結果に基づく市内各地の地盤沈下変動量 | 城北町 ▲4.4mm | 城北町 ▲2.3mm | 城北町 ▲1.5mm |
| 騒音規制法に基づく特定工場・特定建設作業届出の件数 騒音規制法に基づき、特定工場及び特定建設作業として届出された件数 | 5件 | 0件 | 0件 |
| 振動規制法に基づく特定工場・特定建設作業届出の件数 振動規制法に基づき、特定工場及び特定建設作業として届出された件数 | 4件 | 0件 | 0件 |
| 悪臭に係る特定施設届出の件数 悪臭防止法に基づき、悪臭に係る特定施設として届出された件数（累計） | 11件 | 11件 | 11件 |
| 公害防止協定の締結数 福井県公害防止条例及び大野市環境保全条例等に基づき、大野市と公害防止協定を締結した工場、事業場数（累計） | 15事業所 | 15事業所 | 15事業所 |
| 典型7公害に関する苦情処理の件数 1年間の公害苦情処理件数の中で、典型7公害の公害に関する処理件数（年度別） | 22件 ※内訳 大気汚染：20件 水質汚濁：1件 地盤沈下：0件 土壌汚染：0件 騒音：0件 振動：0件 悪臭：1件 | 9件 ※内訳 大気汚染：6件 水質汚濁：2件 地盤沈下：0件 土壌汚染：0件 騒音：0件 振動：0件 悪臭：1件 | 10件 ※内訳 大気汚染：2件 水質汚濁：0件 地盤沈下：0件 土壌汚染：1件 騒音：2件 振動：0件 悪臭：5件 |
| 典型7公害以外の公害に関する苦情処理の件数 1年間の公害苦情処理件数の中で、典型7公害以外の公害に関する処理件数（年度別） | 3件 | 3件 | 4件 |
| P R T R届出事業所数・届出排出量 P R T R制度に基づき、第一種指定化学物質の排出量について、市内で届出をした事業所数（累計）と、その1年間の排出量 | 12件 13,238kg | 10件 12,865kg | — (公表未済) |
| 社会奉仕活動の実施件数 地区や市民団体等による社会奉仕活動の回数（延べ数） | 98回 | 99回 | 123回 |

| | | | |
|---|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 環境パトロールの実施日数 不法投棄の発見などを目的に市内を巡回した年間実施日数（延べ数） | 県合同パトロール 11 日 環境監視員 106 日 | 県合同パトロール 12 日 環境監視員 107 日 | 県合同パトロール 12 日 環境監視員 135 日 |
|---|------------------------------|------------------------------|------------------------------|

令和 5 年度の取組状況

施策の基本方針

良好な景観形成及び歴史的、文化的遺産の保存

重点施策① 良好な景観形成

取組状況と成果

（１）街並み景観の保全と形成

- ・七間通り、五番通り、寺町通りを景観形成地区に指定し、構築物の設置や家屋の改修に対して補助を行った。（実績 1 件）

（２）自然景観の保全

- ・市民協働による環境美化を推進するため、用水路清掃や草刈り、ごみ拾いなど各地区が実施する社会奉仕活動を補助金等により支援した（79 地区・延べ 123 回実施）。
- ・広報おおの 10 月号に南六呂師エリアの星空保護区の認定をテーマにした特集記事を掲載した。
- ・星空と天空の城を表紙にした新しいデザインの総合観光パンフレット（4 万部）を製作した。（再掲）

（３）星空景観の保全

- ・南六呂師エリアの夜空の暗さ、光害への取組みなどが評価され、8 月に「星空保護区®」に認定（アーバン・ナイトスカイプレイス部門ではアジア初認定）された。10 月には第 35 回「星空の街・あおぞらの街」全国大会を文化会館で開催した。（再掲）
- ・9 月に市民向けの光害対策講座を開催した。
- ・美しい星空を通じ環境問題について学ぶ機会を創出することを目的に、市民及び事業者の協力の下、ライトダウンキャンペーンを実施した。例年の 7 月の開催に加え、星空保護区認定を受け、2 月に 2 回目を開催した。（協力事業者 65 社 前年比 10 社増）
- ・2 月のライトダウンキャンペーンに合わせて、「光害対策」「脱炭素」「星空学び」の 3 つの視点から、阪谷小学校児童が星空を美しく見るための具体的な行動を示したポイントカードを作成し、市が全戸配布した。

（４）公共施設の景観整備

- ・市有地において草刈りや樹木剪定などを適切に実施した。
- ・市所管の防犯灯の LED 化を行い、LED 化率が 87%（655 灯/全 753 灯）となった。（再掲）

重点施策② 歴史的、文化的遺産の保存

取組状況と成果

(1) 文化財とその周辺の保全対策の実施

- ・国指定天然記念物「専福寺の大ケヤキ」の樹勢回復について、所有者への補助金支援を念頭に、文化庁との調整や所有者への助言を行った。
- ・市内の無形民俗文化財保存を行う4団体に対して補助金を交付した。
- ・文化財保存活用地域計画推進協議会を1回開催し、取組み状況の確認や情報交換を行い事業の方向性について協議した。計画の取組みについては、順調及びおおむね順調が98%であった。
- ・神像仏像調査について、一次(現地)調査を20件行い、新たな文化財の発掘に努めた。また、「下打波のトチノキ・ケヤキ・イタヤカエデ群生林」について、県指定を目指し、県と所有者との間で調整を行った。

(2) 伝統文化の継承の推進

- ・おおの遺産について、新たに阿難祖領家区・阿難祖地頭方区の「阿難祖八坂神社の祭礼」と、中荒井町区の「鉛筆供養」を認証し、累計認証数25件となった。
- ・3つの公民館で踊りの伝承教室を21回開催し、延べ122人が参加した。また、放課後子ども教室において民謡教室を開催し、伝統文化体験の機会を作った。
- ・穴馬紙大すきの会の会員を講師に依頼し、穴馬紙の原料の調達から紙すきまでを体験する講座を行った。和泉小学校5・6年生は自分で漉いた穴馬紙で卒業証書を作った。

(3) 郷土の歴史や文化の魅力の発信

- ・博物館の企画展を2回(延べ2,101人参加)、「博物館講座」を6回(延べ139人参加)、各種団体の講座への学芸員の派遣を16回(延べ428人参加)、学芸員による出前事業を17回(延べ435人参加)、それぞれ実施した。
- ・市制施行70周年記念事業のイベントとして、文化財を楽しむ対談会「春風亭昇太・千田嘉博 越前大野城を語る」を開催し、600人が来場した。
- ・茨城県古河市と姉妹都市連携のルーツである土井家をテーマとした講演会を開催し、市内外から77人が参加した。
- ・SNSによる文化施設への集客効果を狙い、武家屋敷旧内山家に夏障子や絵障子を、武家屋敷旧田村家に風車棚を設置した。
- ・文化施設の誘客及び周遊性の向上などを目的に「クイズビンゴ」を実施し、2,312人が参加した。

重点施策③ 公園や空き家、空き地の適正管理の促進

取組状況と成果

(1) 空き家対策の推進

- ・都市機能誘導区域内の空き家等を活用し、にぎわい創出を行う事業者に対し支援する店舗形成事業について、2者に店舗形成に必要な経費の一部を補助した。
- ・有効活用できる空き家の空き家情報バンクへの登録を促し、22件の登録と13件の成約があった。(累計登録数117件、累計成約数74件)
- ・空き家の利活用を促進するため、空き家相談会を2回開催した。(相談件数47件)
- ・空き家所有者に適正な空き家管理を周知するため、空き家リーフレットやホームページによる啓発を行った。
- ・老朽化した危険な空き家は、市の解体補助を紹介して、除却を促した。(実績6件)

(2) 空き地の適正管理の促進

- ・樹木、雑草が繁茂している空き地の所有者に対して、指導等を実施した。(苦情件数4件)

(3) 公園の適正管理

- ・長寿命化計画等に基づき、公園施設の補修や撤去を実施した。(危険な施設の撤去1箇所・補修2箇所)
- ・地元地区に公園草刈等の清掃活動を依頼し、28公園で地元地区民が清掃活動を実施した。

数値目標の達成状況

- ・①存在する特定空家等の件数(件)

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 16 | 16 | 15 | 17 | 14 | 0 | 0 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|--|-------|-------|-------|
| 景観形成地区の指定面積 大野市都市景観条例に基づき指定された景観形成地区の面積の総数(累計) | 8.2ha | 8.2ha | 8.2ha |
| 景観誘導の件数 大野市都市景観条例に基づく都市景観形成地区内の届出行為や、大規模建築物等の届出行為について、良好な景観の保全あるいは創造に向けて誘導を行った件数 | 16件 | 12件 | 8件 |

| | | | |
|--|------------------------|------------------------|------------------------|
| 指定文化財等の点数 国、県、市により指定された文化財の総数（累計） | 143 点 (令和 3 年度 0 点) | 144 点 (令和 4 年度 1 点) | 144 点 (令和 5 年度 0 点) |
| 埋蔵文化財の確認件数 市内で確認された埋蔵文化財件数の総数（累計） | 161 件 (令和 3 年度 0 件) | 161 件 (令和 4 年度 0 件) | 161 件 (令和 5 年度 0 件) |
| おおの遺産の認証件数 おおの遺産に認証された文化遺産の総数（累計） | 21 件 (令和 3 年度 2 件) | 23 件 (令和 4 年度 2 件) | 25 件 (令和 5 年度 2 件) |
| 都市公園の整備面積 都市計画法に基づき整備された公園において供用が開始されている公園の総面積（累計） | 41.57ha | 41.57ha | 41.57ha |

基本目標 5 総合的な取り組みの推進

令和12年（2030年）に向けた目標

- 持続可能な社会の担い手を育む教育を学校だけでなく、地域や社会、職場など幅広い場において推進し、あらゆる世代による環境学習を促進します。
- 人口減少や少子化、高齢化を踏まえ、学校や市民、団体、行政など環境教育や環境学習を担う各主体との連携強化を図るとともに、市民協働により自然環境の保全や地域の特性を生かした取り組みを進めます。
- 環境に関する情報を収集するとともに、SNSなどを活用し、市民や団体、事業者との情報共有を図ります。

令和5年度の取組状況

施策の基本方針 総合的な環境対策

重点施策① 持続可能な社会の担い手を育む教育の推進

取組状況と成果

(1) 学校教育における環境教育の推進

- ・ すべての小中学校で、環境教育計画を作成し、環境に関する学習を実施した。（ゴミの分別回収、資源回収、ビオトープの保全、地区の清掃活動、花壇・鉢の花植、地域学習における自然や環境の学習、野菜作りなど）
- ・ 令和5年度から国型コミュニティ・スクールに移行し、学校ごとの学校運営協議会を設置した。阪谷小学校では、ふるさとの学び（星空の街・あおぞらの学び）を実施した。

(2) 社会教育における環境教育の推進

- ・ おおの城まつり開催期間中、越前おおの水のがっこうで子ども向けの「水まつり」を初めて開催し、45人が来館した。
- ・ 体験農園や草刈り、花の苗植など、各公民館で子どもを対象とした地域における自然体験活動を実施した。

(3) 環境学習の機会の充実

- ・ 2月のライトダウンキャンペーンに合わせて、「光害対策」「脱炭素」「星空学び」の3つの視点から、阪谷小学校児童が星空を美しく見るための具体的な行動を示したポイントカードを作成し、市が全戸配布した。（再掲）
- ・ 開成中学校及び陽明中学校、上庄中学校で食品ロスをテーマにした「ECO落語」を各校1回ずつ実施した。
- ・ 小学校での自前講座を6回実施した。

- ・小中学校に出向き、大野市の地下水や水循環について学習する講座を実施した。(上庄小学校 17 人・チャレンジ教室の開催 81 人)

重点施策② 市民協働の取り組みの推進

取組状況と成果

(1) 市民等との協働推進

- ・環境美化活動や自然体験活動など、地域の活性化や地域活力の維持、課題解決に効果が期待できる取組みを支援するとともに、コミュニティ会館などを利用してさまざまな世代の方が交流できる 8 事業に対して助成し、388 人が交流を深めた。
- ・開成中学校の生徒 10 人で「イトヨ守り隊」を結成し、大野の水について考えながら、イトヨを保護する活動を行った。(再掲)
- ・大野高校生と連携し、健康食守フェスタで、食品ロスに関するクイズや食品ロスレシピの配布などを行った。(再掲)
- ・市民協働による環境美化を推進するため、用水路清掃や草刈り、ごみ拾いなど各地区が実施する社会奉仕活動を補助金等により支援した(79 地区延べ 123 回実施)。(再掲)
- ・関西大学との連携事業の一環で、年間を通じて「関西大学 横町スタジオ」にミミズコンポストを設置し、生ごみの資源化に取り組むとともに、地域住民の交流を促した。また、資源循環を学ぶ一環として、有終西小学校にミミズコンポストを設置し、7～10月の4か月間で 40 kg以上の生ごみを処理した。

(2) 環境に配慮できる人材、企業の育成

- ・小中学校及び公民館に、県及び広域連携の環境アドバイザー制度を周知し、専門的な学習機会の実施を促した。
- ・地区から推薦を受けた住民を環境監視員に委嘱し、不法投棄物などの早期発見を目的としたパトロールを行った。(再掲)(延べ 135 回)
- ・市民の「CO2 削減につながる商品等」の購入をサポートする事業者(結の Eco 協賛店)を募集し、賛同した店舗をリーフレットやホームページ等で紹介した。(R6.3 時点 登録者数 51 者)(再掲)

重点施策③ 環境情報の収集と共有化

取組状況と成果

(1) 環境情報の充実化

- ・環境基本計画及び水循環基本計画に基づく令和 4 年度年次報告書を取りまとめ、ホームページに掲載した。
- ・市内 16 地点の観測井の日別及び月別の地下水位や、飲料水基準項目検査の結果についてホームページにて公表した。

- ・図書館にて星・環境関連の図書を展示するとともに、自然学習の場を提供した。
- ・気候変動による水循環への影響を調査するため、連携協定を締結する香川大学と共同研究を実施した。その成果を市民へ情報共有するため、共同研究成果報告会を開催し、36人が参加した。(再掲)

(2) 創意工夫による情報発信

- ・環境月間の6月に不法投棄及び野外焼却について広報おおのに啓発記事を掲載した。(再掲)
- ・8月に「省エネ住宅でより健康で快適な暮らしを」をテーマに関係団体、事業者、大学等の関係者の参加を得て、「脱炭素ビジョンシンポジウム」を開催し、71人が参加した。(再掲)
- ・星空と天空の城を表紙にした新しいデザインの総合観光パンフレット(4万部)を製作した。(再掲)
- ・SNSによる文化施設への集客効果を狙い、武家屋敷旧内山家に夏障子や絵障子を、武家屋敷旧田村家に風車棚を設置した。(再掲)

数値目標の達成状況

①環境に関する出前講座等の受講者数(人)

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|-------|----------------|-----------------|
| 281 | 295 | 161 | 353 | 3,134 | 330 | 385 |

②環境アドバイザー等の派遣回数(回)

| R元年度 (基準値) | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R7年度 (中間目標) | R12年度 (最終目標) |
|---------------|------|------|------|------|----------------|-----------------|
| 6 | 5 | 5 | 4 | 10 | 14 | 22 |

環境管理項目の実績

| 項 目 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|---|---|--|--|
| 社会教育における環境に関する学習会の開催数 | | 14回 ※内訳 | 14回 ※内訳 |
| 地域活動等の社会活動において、環境に関する事項について実施した1年間における学習会の開催数 | 8回 ※内訳 大野公民館 5回 下庄公民館 2回 和泉公民館 1回 | 大野公民館 2回 下庄公民館 2回 乾側公民館 1回 小山公民館 1回 上庄公民館 2回 富田公民館 2回 阪谷公民館 1回 五箇公民館 1回 和泉公民館 1回 | 大野公民館 2回 下庄公民館 1回 乾側公民館 3回 小山公民館 1回 上庄公民館 0回 富田公民館 2回 阪谷公民館 1回 五箇公民館 2回 和泉公民館 2回 |
| 環境アドバイザーの登録者数 市環境アドバイザーに登録している人数(3月末時点) | 8人 | 8人 | 8人 |

| | | | |
|---|-------------|-----------|-----------|
| 広報紙等の紙面を利用した環境情報提供の件数 市が発行する広報紙等において、環境基本計画に関連する事項の内容を掲載した1年間の件数 | 12 件 | 11 件 | 11 件 |
| 市ホームページを利用した環境情報提供の件数 1年間に市公式ホームページを利用して、環境基本計画に関連する事項の内容を提供した総件数 | 1,154,398 件 | 981,479 件 | 873,074 件 |
| 市LINEを利用して環境情報を収集している登録者数 市のSNSサイト等に登録している人のうち、環境関連を知りたい情報として登録している件数 | 992 件 | 1,605 件 | 1,950 件 |